

令和4年度
学校評価
報告書

学校関係者評価・自己評価

令和5年4月20日

高松市医師会看護専門学校

目 次

令和4年度学校評価【学校関係者評価】	P1
令和4年度学校評価【自己評価】	
1 教育理念、目的	P2
2 令和4年度の教育目標(重点目標)と計画	P2
3 自己評価結果(総括)	P3
4 項目別自己評価結果【大項目ごとのまとめ】	P4～P6
令和5年度の教育目標と計画	P7

資料掲載の評価表は「香川県専修学校各種学校連合会」による学校評価モデルに基づいています。

自己評価における評価は以下の並びになっています。

1. 教育理念、目的を掲げる
2. 当該年度の教育目標と計画を掲げる
3. 評価総括(目標達成状況と今後の課題・改善方法)
4. 項目別評価結果(大項目)(項目別評価結果小項目を基に)
5. 次年度の教育目標と計画

令和4年度学校評価【学校関係者評価】

評価	B
<p>目標達成状況</p>	<p>資格試験に向けて懇切丁寧な指導が行われたが、資格試験の全員合格には至らなかった。 それまでの科目試験結果において成績不良の学生が増加している。</p> <p>遠隔授業やICT教育での物的環境は整った。ZOOMを使用した遠隔授業も問題なく実施できるようになった。個人の状況に合わせて別室での授業も行うことができ、学習しやすい環境が提供できている。</p> <p>校内での挨拶は積極的に行えている。言葉遣いや身だしなみ等の指導が行えている。</p> <p>教員は学生へ積極的な働きかけを行い、信頼関係が構築できている。卒業生とは学生募集において連携が図られ、情報交換も行っている。</p> <p>連絡・報告・相談については、必要に応じ教員・学生ともに速やかに行っていた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、教員・学生・生徒共に感染予防を徹底しクラスターを起こすことはなかった。安全管理・衛生管理も適切であった。</p> <p>カリキュラム改正に向けて、計画的に取り組み承認された。</p>
<p>今後の課題・改善方法</p>	<p>資格試験全員合格を目指すこと。 学習の全体指導と個別指導を行っていく。 学生のモチベーション維持と健康に留意し、1人1人と向き合っていく。</p> <p>状況に応じ、遠隔授業や別室授業等継続する。ネット環境の開放及びPCの貸出を継続し、学習しやすい環境を提供する。</p> <p>挨拶は継続し指導する。言葉遣いについては、一部気になる時もある為、今後も指導を継続していく。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策は教員・学生が協力してよくできていたので、継続する。 5類に移行後、学校保健法等を参考にしながら、対応方法を教員間で共有する。</p> <p>正確で明瞭な報告・連絡・相談の方法を継続して指導する。</p> <p>新カリキュラムを実施し、専任教員は担当教科の授業評価を行い、授業の工夫をして学習効果をあげる</p> <p>受験者確保に努力する。WEBでのオープンキャンパス等募集方法を工夫し、実践していく。</p> <p>職員共々広く地域や地域住民等との交流が出来るように取り組んでいく。</p>

令和4年度学校評価【自己評価】

1 教育理念、目的

教 育 理 念	生命の尊厳と人間尊重を基本理念として、人と社会を愛する豊かな人間性を育み、地域住民の健康生活に貢献できる有能な看護実践者を育成します。
教 育 目 的	生命の尊厳と人間尊重を基盤とした豊かな人格と教養を身に付け、社会の要請に応えられる看護の専門職業人として基礎的知識・技術・態度を修得し、保健・医療・福祉の一員として科学的根拠に基づいた安全な看護を実践する看護師・准看護師を育成します。

2 令和4年度の教育目標と計画

目 標	<p>重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目標とする資格取得のために、学生個々の能力に応じたきめ細やかな指導を行い、合格率を上げる。 2. 看護における援助関係に必要なコミュニケーション能力を育むために、日常の気持ちのいい挨拶・相手を思いやる言葉掛けを励行する。 3. 学生と教員および卒業生とのよりよい人間関係を構築する。 4. 適切な報告・連絡・相談を実践する。 5. 指定規則の改正に伴い、本校の特色あるカリキュラムを構築し、本年度内に学則変更承認を受ける。 6. 魅力的な学校づくりに努め、地域社会に貢献するとともに学生増を図る。
計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 資格試験に向けては担任を中心としてクラス指導・個別指導を行う。 2. 学内で学習のできやすい環境を提供する。 <ul style="list-style-type: none"> ・教室、図書室、パソコン室、ネット環境の開放およびPCの貸出をする。 また、自由な時間帯での利用許可をする。 3. 学生の学習背景や健康、心情を理解するため個別面接をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・教員はゆとりを持って、学生の健康を含めた丁寧な指導に当たる。 4. 学校近隣、駐輪場、校内で登下校を見守り安全配慮を行う。 5. 自然災害・火災等に備え学校建物の安全点検および感染症の発生を防止できるよう衛生管理を行う。 6. 教員間では効率的で密な情報交換を行い、互いの意見を尊重しつつ調整を図る。 7. 新カリキュラムの構築には教員全員の意見を反映ながら法令に則って作成する。 8. 科目目標・シラバスに応じて、分かりやすく丁寧な授業を工夫する。 9. 教員の担当した科目の授業評価を行う。

令和4年度学校評価【自己評価】

(総括)

評価	B
----	---

目標達成状況	<p>資格試験に向けて試験日直前まで懇切丁寧な指導が行われたが、全員合格には至らなかった。 それまでの科目試験結果でも成績不良の学生も増加している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症蔓延時は、ZOOMを使用した遠隔授業は環境も整い問題なく実施できるようになった。また個人の状況に合わせて別室授業も行った。 学生用PCも頻繁に利用され学習しやすい環境が提供できている。</p> <p>気持ちの良い挨拶や言葉遣いは教員自らも留意し、学生への働きかけもできていた。今後も継続した取組が必要である。</p> <p>学生と教員間のコミュニケーションが図られ良い人間関係ができていた。特に卒業生(同総会)とは情報交換や学生募集において連携が図られた。</p> <p>教員・学生ともに速やかな報告・連絡・相談ができていた。</p> <p>登下校の際に軽微な交通事故はあったものの、学生の安全が図られた。また安全管理・衛生管理も適切であった。新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、感染予防を徹底しクラスターを起こすこともなかった。</p> <p>カリキュラム改正に向けて、教員一丸となり計画的に取り組んだ結果、承認された。</p>
今後の課題・改善方法	<p>資格試験全員合格を目指して、さらに学習の全体指導と個別指導を行う。同時に学生のモチベーション維持に留意し、丁寧な関わりをする。</p> <p>感染状況に応じた遠隔授業を継続する。ただ学生・生徒が遠隔授業を望む傾向もみられたため、接触状況等確認し、学校での別室授業も検討していく必要がある。</p> <p>挨拶は改善できているので定着させる。言葉遣いについては、一部気になる部分もみられる為、今後も指導の継続が必要。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策は全員よくできていたので、クラスターを起こすことはなかった。5類に移行後、学校保健法等に注意し、マニュアルを作成し対応方法を職員間で共有する。</p> <p>正確で明瞭な報告・連絡・相談の方法を継続して指導する。</p> <p>新カリキュラムを実施し、専任教員は担当科目の授業評価を行い次年度に向けて改善点等の検討をする。</p> <p>支援金の効果もあったのか看護科の入学生は増加した。今後も支援金の周知や受験者増に向けて、WEBでのオープンキャンパス等募集方法を工夫し実践する。</p> <p>学生の状況から実施できるような内容を洗い出し、職員共々広く地域や地域住民等との交流ができるように努力する。</p>

4 項目別自己評価結果【大項目ごとのまとめ】

* 評価項目は「一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会」発行のモデルを使用

* 評価ランクは A B C D の4段階とする

(1) 教育理念・目的・育成人材像

評価		A
評価結果 (総括)	社会のニーズに合った内容を取り入れて作成され、周知されている	
取組状況と その分析	実習施設をはじめとする地域の医療福祉介護施設の意見を踏まえて作成され、学校の教育活動に反映させている	
今後の 改善方策等	社会の急激な変化に応じた中期的将来像を検討する	

(2) 学校運営

評価		A
評価結果 (総括)	事業計画、組織運営、人事・給与制度は良く整っている 教育理念に則って運営方針・事業計画が定められ業務の細部に生かされている	
取組状況と その分析	各種運営規定を整備し、組織的に取り組んでいる 関連官公庁および関連学校・実習施設との連携を密にし、状況に応じて指導助言を受け反映させている	
今後の 改善方策等	業務内容の洗い出しと分類・分担の見直しを行い効率的かつ遺漏の無い作業を行う 毎年運営方針の見直しを行い、明文化する	

(3) 教育活動

評価		A
評価結果 (総括)	おおむねできている 授業評価を行うこと	
取組状況と その分析	履修に関する評価を適切に行い、資格取得に向けた指導に繋げている 学生に対してアンケート調査等が実施できていない為、学生の声が反映されていない。 授業評価は一部しかできていないが、外部講師も含めて実施を進めている	
今後の 改善方策等	日々の学習を大切に、資格取得に向けた指導を強化する 他校や地域の施設あるいは多職種との連携を図り、開かれた学習をする 授業評価等アンケートを実施し、改善に役立てる。	

(4) 学修成果

評価		A
評価結果 (総括)	免許取得率は令和4年度96.6%(全国平均90.8%、全国新卒平均95.5%) 県内就職率は高率で横ばい	
取組状況と その分析	就職活動支援を行い、県内就職率が上がるよう取り組んでいる。 単位認定が得られるよう、日々の学習支援を行っている	
今後の 改善方策等	就業してからのキャリアアップに関する情報提供を行う 資格試験合格率の向上	

(5) 学習支援

評価		A
評価結果 (総括)	おおむねできている 学習・就職・学校生活やプライベートな相談等、丁寧に対応している	
取組状況と その分析	自己学習の場として設備を開放し、自己のスケジュールにあった学習が できる環境を提供している 令和4年より支援開始すると共に公的な支援へのサポートも継続している 卒業後のフォローは十分でない	
今後の 改善方策等	さらなる退学・休学者減少にむけた早目の指導	

(6) 教育環境

評価		B
評価結果 (総括)	設備的な環境は整っており、安全点検できている 保健医療介護分野以外での地域と連携が薄い	
取組状況と その分析	教育充実に向けての整備に努め、遠隔授業やICT教育設備の充実にできた 校外学習時間は少ない 学内での防災訓練は行っているが、学外(地域)との防災連携が図れて いない	
今後の 改善方策等	広く地域との関係を構築していく 校外学習の位置づけ等を検討していく	

(7) 学生募集と受け入れ

評価		A
評価結果 (総括)	学生募集に取り組んでいるが、受験者が減少した 学費等必要経費については適切に周知している 学校独自の経済的支援は制度の創設に取り組んでいる	
取組状況と その分析	学生募集には丁寧な対応ができているが、学校に関する更なる詳細 な情報が不足している 授業料・入学金については令和4年10月より支援体制を整え実施	
今後の 改善方策等	家庭を持つ学生への支援対策を充実させる 学生募集方法についてはさらに検討していく 支援体制の実施状況確認、今後について検討 本校高等課程准看護科との連携を強化し、学生へは進学を薦める	

(8) 財務

評価		A
評価結果 (総括)	適切な予算決算となっており、事務処理も適切である 学生数の減により運営状況は厳しい HPでの公表をしていない	
取組状況と その分析	会計処理基準に基づき適切に会計処理が行っている 収支バランスが取れるよう支出配分している	
今後の 改善方策等	定員充足の維持向上 会計処理は現状維持 財務状況公開	

(9)法令等の遵守

評価		B
評価結果 (総括)	<p>プライバシーポリシーを徹底し、個人情報保護ができています</p> <p>IT上のセキュリティおよび校内のセキュリティ管理ができています</p> <p>自己評価は実施しているが、公表ができていない</p>	
取組状況と その分析	<p>自己評価の体制が十分に整っていない</p> <p>PCのセキュリティ強化を図り、情報漏洩対策を図っている</p> <p>法令による関係省庁への連絡・報告はできている</p> <p>ハラスメントに関する規定(明文化)ができていない</p>	
今後の 改善方策等	<p>情報漏洩については継続して意識の高揚と管理を図る</p> <p>ハラスメントの規定を作成する</p> <p>自己評価のための体制・ルールを再考し実施する</p>	

(10)社会貢献・地域貢献

評価		B
評価結果 (総括)	<p>施設の開放はできているが利用は少ない</p> <p>卒業生は86.5%が県内に就職しており、地域貢献できている</p> <p>勤労学生であり医療福祉介護の分野で貢献できている</p>	
取組状況と その分析	<p>勤労学生であること、夜間の授業であること等により、地域との交流等の積極的な取り組みができていない</p> <p>地域の医療福祉介護分野で貢献できるよう、在学中の勤務先を紹介している</p>	
今後の 改善方策等	<p>学生・生徒の状況から、実施できるような内容を洗い出し、職員共々地域の団体との関係を開拓できるように努力する</p>	

(11) 総括

評価		B
評価結果 (総括)	<p>学校情報の公開が十分でなかった(HP上)</p> <p>教員は評価の目的を理解しているものの、全員が評価に携わることはできなかった</p>	
取組状況と その分析	<p>日々の業務に追われているが、業務分掌を横断して協働しようとしている</p> <p>学生募集に知恵を出し、職員全体で取り組んだ</p> <p>個々の教員が評価の必要性は理解できているが、方法が具体的でなく実践ができなかった</p>	
今後の 改善方策等	<p>教員への学校評価に関する再周知および実践指導</p> <p>教職員会議を通して本年度の重点目標の周知をし、具体的な実践方法の再考、出来るところから改善していく</p> <p>できていないマニュアルを作成し、体制を整える</p>	

令和5年度の教育目標と計画

1 教育理念、目的

教育理念	生命の尊厳と人間尊重を基本理念として、人と社会を愛する豊かな人間性を育み、地域住民の健康生活に貢献できる有能な看護実践者を育成します。
教育目的	生命の尊厳と人間尊重を基盤とした豊かな人格と教養を身に付け、社会の要請に応えられる看護の専門職業人として基礎的知識・技術・態度を修得し、保健・医療・福祉の一員として科学的根拠に基づいた安全な看護を実践する看護師・准看護師を育成します。

2 令和5年度の教育目標と計画

目 標	<p>重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目標とする資格取得のために、学生個々の能力に応じたきめ細やかな指導を行い、合格率を上げる。 2. 看護における援助関係に必要なコミュニケーション能力を育むために、日常の気持ちのいい挨拶・相手を思いやる言葉掛けを励行する。 <ul style="list-style-type: none"> ・学生と教員および卒業生とのよりよい人間関係を構築する。 3. 自然災害・火災・感染症等の発生に備え、危機管理体制の見直しをする。 4. 適切な報告・連絡・相談を実践する。 5. 新カリキュラムを実施し、評価・修正を行っていく。 6. 魅力的な学校づくりに努め、地域社会に貢献するとともに学生増を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・退学者・休学者の減少
計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 資格試験に向けては担任を中心としてクラス指導・個別指導を行う。 2. 学内で学習のしやすい環境を提供する。 <ul style="list-style-type: none"> ・教室、図書室、パソコン室、ネット環境の開放およびPCの貸出をする。 また、自由な時間帯での利用許可をする。 3. 学生の学習背景や健康、心情を理解するため個別面接をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・教員はゆとりを持って、学生の健康を含めた丁寧な指導に当たる。 ・学生が相談しやすい環境の整備を行う 4. 学校近隣、駐輪場、校内で登下校を見守り安全配慮を行う。 5. 自然災害・火災等に備え学校建物の安全点検および感染症の発生を防止できるようマニュアル等を作成し職員間で共有する。 6. 教員間では効率的で密な情報交換を行い、互いの意見を尊重しつつ調整を図る。 7. 新カリキュラムを実施し、授業評価を行い次年度に向けて検討する。 8. 支援金の周知・学校訪問の継続・進学ガイダンスへの参加継続・WEBでのオープンキャンパスの検討等募集方法を工夫し実践する。 9. 学生の現状から実施できるような内容を洗い出し、職員共々広く地域や地域住民との交流が図れるように努力する。